

| | | |
|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 令和2年度 No. 5 令和3年3月26日(金) | 富士見中学校だより 希 望 か が や く | 川越市立 富士見中学校 Tel 242 - 0931 |
|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|

想いを伝えられる生徒 (修了式式辞から)

令和3年3月26日
校長 矢嶋 充 夫

今年度は、新型コロナウイルス感染症による歴史に残る事態となりました。学校生活は、臨時休業、分散登校、部活なし、マスク、換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス、給食は黙って前を向いて食べる、など、今までに経験をしたことのないことが求められました。しかし、すべては安全、命を守るためです。このように今までと違って、様々なことを我慢しなければならなかった1年でした。また今後もそうでしょう。このような中、皆さんは、とてもよく我慢をし、制限の中で授業や行事をおこなってきました。本当に頑張りましたね。素晴らしいと思います。

今日で令和2年度を終了します。2年生は、いよいよ最上級生です。1日1日が富士見中での最後の1日となります。悔いのないように全力で取り組んでください。そして、自分の進路の実現に向け、しっかりと落ち着いて勉強をしてください。1年生は、下級生の手本、2年生になります。すぐに部活動で中心となって頑張る姿をみせてください。

さて、最近2つの出来事で大変感激しました。

一つは、卒業式前の「3年生を送る会」です。まず、3年生は体育館に入ってきたとき、壁面の装飾をみて感嘆のため息をつけていました。そして、1、2年生が作ったVTRを話もせず集中して見ていました。VTRを見て、大いに笑い、大いに感激していました。1、2年生の皆さんの温かい気持ち、感謝の気持ちは、確かに伝わっていました。きっと、卒業した3年生は、さぞ嬉しかったでしょう。

2つめは、生徒会本部が中心となって、全校生徒の皆さんが鶴をおってくれたことです。それらを束ね、きれいで立派な千羽鶴ができました。コロナ対応を懸命に行っ

ている方に届けました。川越市のコロナ感染症をとりまとめている川越市保健所感染症担当様、本校に数多くのアドバイスをいただいた埼玉医科大学総合医療センター感染制御室様、市内学校のコロナ対応を行っている川越市教育委員会教育指導課保健担当様に届けました。この後、コロナの中、命がけで救急搬送する川越地区消防局の皆様にも届けます。どこも鶴を受け取った時に大きな歓声をあげ、拍手をし、受け取ってもらえました。ある人は涙を浮かべていました。

1、2年生の皆さんは、3年生を送る会の準備をし、先輩たちがどのような気持ちになったか知らなかったと思います。鶴を折って、それを届けた人たちがどんな思いになったか知らなかったと思います。しかし、とても喜んでいました。感激していました。涙を浮かべていました。皆さんの思いは確実に届いたのです。「想いは密で」。皆さんが思いを込めた行動の結果、どんなに人の心を動かしたのか。そのことに大変感激しました。富士見中生、さすがです。誇りに思います。どんなにコロナで苦しくとも、学校生活が制限されようとも、皆さんの思いを、3年生、2年生の生活で発揮してほしいと思います。そして、そのことに誇りをもってください。

富士見魂 5つの誇り

- 1 あいさつと感謝を忘れません。
- 2 授業を大切にします。
- 3 いじめは許しません。
- 4 熱いチームワークを大切にします。
- 5 清掃を一生懸命します。

校長のひとりごと

今年はとても温かい日が続いているようです。桜の開花も少し早く、本校のシンボルになっている「楠」の落葉がもう始まりました。毎日、バケツ2杯ほどの葉っぱ。4月まで桜の花が持つと良いなと思いますが、ソメイヨシノの花は、ちょうど入学式の頃は、葉桜です。しかし、次第に2本のしだれ桜が赤く満開になっていきます。確実に季節は移ろい、生徒も成長していきます。コロナに負けずに、また4月から確実に進んでいきましょう。

